

# 秋田大学 高等教育グローバルセンターニューズレター

Vol.8  
2023.3

GLOBAL CENTER FOR HIGHER EDUCATION NEWSLETTER

## ヴィエブス応用科学大学と大学間協定及び部局間協定を締結

秋田大学は、2022年12月7日（水）、ヴィエブス応用科学大学（ベルギー）と大学間協定を締結しました。ヴィエブス応用科学大学の代表団3名が本学を訪問し、山本学長の代理として後藤猛理事（教育・国際担当）・副学長とヨリス・ハインドリックス学長による調印式が実施されました。調印式には、本学から眞壁幸子医学系研究科保健学専攻国際交流センター副センター長、米山奈奈子同研究科保健学専攻教授が陪席し、また、ヴィエブス応用科学大学からは、イザベル・ヴァンスレムブルック研究・イノベーション担当理事、ティネ・ターネスト グローバルエンゲージメント室長が陪席しました。

調印式に続いて、同一行は、理工学研究科で開発されたアプリケーションやシミュレーション機器について説明を受けた後、医学系研究科保健学専攻で学部間協定の締結を行いました。



署名式の様子



（前列左から）ヴァンスレムブルック理事、後藤理事、  
ハインドリックス学長、ターネスト室長  
（後列左から）米山教授、眞壁副センター長

## 東サラエボ大学（ボスニア・ヘルツェゴビナ）と大学間協定を締結

秋田大学は、2023年2月16日（木）、東サラエボ大学（ボスニア・ヘルツェゴビナ）と大学間協定を締結しました。署名式には訪問団としてシニシャ・ベリヤン駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使、東サラエボ大学ディヤン・ポコニッチ医学部長、バニャルカ大学ランコ・シュケルビッチ医学部長が出席し、秋田大学からは後藤猛理事（教育・国際担当）・副学長、羽瀧友則医学系研究科長、植木重治医学系研究科教授が陪席しました。署名式の後、訪問団は医学部附属病院およびシミュレーション教育センターでの見学を行いました。



署名式の様子



（前列左から）ポコニッチ医学部長、山本学長、  
ベリヤン大使、シュケルビッチ医学部長  
（後列左から）植木教授、後藤理事、羽瀧研究科長

## 第三の故郷を見つける農家民泊2022

2022年10月21日～22日に「第三の故郷を見つける農家民泊2022」が実施され、秋田大学・秋田県立大学・秋田工業高等専門学校・国際教養大学・ノースアジア大学から秋田県内の留学生14名・日本人学生8名が参加しました。本事業は秋田地域留学生等交流推進会議（事務局：秋田大学国際課）が主催し、新型コロナウイルスの影響で2年間開催中止となっていたもので、今年度で12回目の開催となりました。

### 参加学生の感想

#### 特別聴講学生 グォンヨンハン

仙北市での農村民泊は、最も大切な思い出であると考えます。韓国では、高層ビルの森に囲まれた景色の中で住んでいましたので、緑の色を彩っている仙北市の景色は本当に珍しかったです。次に、農家の家族と作業中、夕ご飯を食べた後に様々なトピックの話し合いをしました。その中で、戦争と政治に関する話をしながら、韓国と日本の認識や観点がお互いに異なるのを見つけました。韓国では、そうするのが当然なことだと考えたものが、日本ではそうではないことに気づいて、新たな観点から日本を見ることが必要であると考えました。最後は、民泊の家族と話し合い、弁当作り、作業などをしながら、国籍がお互いに違うけど、結局、親しくなることができるのが分かりました。今後もこのような機会があったら、参加しようと思います。



### 令和4年度第2回海外留学説明会

令和4年11月22日（火）、オンラインで海外留学説明会を開催し、計17名の学生が参加しました。本説明会では、海外留学を考えている本学の学生が今後1～2年先を見据えた留学計画を立てられるよう、情報提供（秋田大学留学制度、トビタテ！留学JAPAN制度、イングリッシュ・マラソン）を行ったほか、留学経験のある学生及び留学中の学生との座談会を実施しました。本説明会の動画および資料は下記QRコードよりご覧いただけます。



動画（YouTube）

URL：<https://youtu.be/pOuj8GMNp8k>



資料（秋田大学国際交流HP）

URL：[https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/eventa/item\\_pro3\\_10.html](https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/eventa/item_pro3_10.html)



## 留学体験記

### 国立ハンバット大学校

教育文化学部 地域文化学科 3年次 熊本 柚月

私は韓国の国立ハンバット大学校に留学してきました。現地では語学の授業はもちろん、韓国人学生と一緒に学習する授業や日本語学科の授業や行事に参加することもありました。語学の授業では、他国からの留学生たちと一緒に学習するため、韓国という国で、さまざまな国の文化を知らながら、楽しく学ぶことができました。特に印象に残っていることは、日本語学科の学術祭という行事に、日本語の発音やイントネーションのアドバイス役として参加したことです。学術祭では、日本語学科の学生たちが日本語で演劇やコントを行うというものでした。毎日夜遅くまで練習し、どんどん上達していく姿には感銘を受けました。日本語という外国語を話しながら、演技をするということがどんなに難しいことなのか、私も韓国語という外国語を学習する身として、よく理解できるような気がしました。日本が大好きなのだという気持ちが、練習風景からも伝わってきて、私ももっと学習を頑張ろうと思うことができました。このような素晴らしい経験をさせてもらったことに感謝しています。今回の留学を通して出会った方々は皆優しく、その方々のおかげで幸せな留学生活を送ることができました。初めての海外、留学は私にとって最高の思い出になりました。



上：韓国人学生たちがくれたケーキ

下：大学祭



## 国際交流イベント「LET'S MEET UP! -多言語で話そう-」

2022年11月21日（月）2023年1月16日（月）にそれぞれ開催された「LET'S MEET UP! -多言語で話そう-」の参加学生による感想を紹介します。本イベントは、日本語または様々な言語によってコミュニケーションをするイベントです。次回開催の際にはa・netにて告知しますので、ぜひご参加ください。

### 参加学生の感想

#### 特別聴講学生 曾喜泓

皆さん、こんにちは!台湾大学から来た交換留学生の曾喜泓です。今学期の「LET'S MEET UP」に2回も参加できて楽しかったです。せっかく日本に来ましたから、友達たくさんでいたいと思っていましたが、部屋で毎日YouTube三昧で過ごしてさびしかったです。その時、LET'S MEET UPは秋田の冬の日差しみたいに私の交換留学生生活を暗闇から救い出してくれました。始まる前に、すごく緊張していましたが、アイスブレイクでみんなもではないですけど、1、2人の名前を覚えて緊張感も解れました。次にいろんな言語でグループに分かれた時に中国語グループにしました。驚いたことに、1回目に同じグループにいる日本人と2回目のベトナム人は中国語あまり話せないですが、文化に興味がありますから、中国語グループに来ました。とても感謝です。LET'S MEET UPでいい友達ができ今は心豊かな交換留学生活を送っています。LET'S MEET UPの主催者と参加者に心より感謝しております。今度のLET'S MEET UP楽しみにしています。

## 📢 令和4年度 秋田大学全学FD・SDワークショップを開催

令和4年9月27日（火）、令和4年度秋田大学全学FD・SDワークショップ「秋田大学のブランド力を考える」を開催しました。今年度は、昨年度に引き続きオンラインでの開催となりました。

今年度のワークショップは、昨年度規範意識をテーマに意見交換したことを踏まえて、教員・職員のみならず、学生を含めて「秋田大学ブランド」について意見交換し、その姿を明らかにすることを目的として実施されました。

当日は、本学教員・職員・学生50名が参加し、山本文雄学長による基調講話や株式会社マイナビによる講演（テーマ：「秋田大学のブランド力を考える」）、グループディスカッションを通して、秋田大学ブランドとは何か、また、秋田大学ブランドを向上・拡散するための方策とは何かを検討し、グループ発表を行いました。教員・職員・学生が秋田大学の良さを再確認する良い機会となりました。

ワークショップの学長講話・外部講師講演の動画をMicrosoft Streamで令和5年3月31日（金）まで、また、最終グループ発表の資料等をまとめた報告書をGaroon「電子書庫（総合学務課）」及びa.net「学生キャビネット」で公開していますのでご覧ください。

## 💬 専任教員からひとこと

高等教育グローバルセンター  
准教授 濱田 陽

2017年度から実施しているイングリッシュマラソン(EM)について2点お話したいと思います。

1点目は、その効果です。EMには主に2年生が参加しており、1年間通して、ALL ROOMsの利用、夏の留学、秋のTOEIC講座、そしてディベート大会等を行い、英語の総合力を高めるものです。参加者の多くはTOEICの点数が100点以上、中には200点、300点もUPし、800点を超えることも珍しくありません。

2点目は、参加しなければ出会うことがないであろう他学部や別の学科の志の高い仲間を知り合うことができるということです。過去の参加者は、そんな仲間と卒業旅行に行ったり、卒業後も繋がっていたりしているそうです。

英語力向上だけでなく、学生時代の貴重な財産を築くことができるプログラムです。

## 👤 秋田大学 国際交流関連データ

### ■国際交流協定校数（2023年3月1日現在）

大学間協定（35か国・地域72大学）

部局間協定（21か国・地域37部等）

### ■留学生数（2023年1月1日現在）

学部生 105名

大学院生 110名

交換留学生・研究生等 42名

合計 257名



編集・発行：

国立大学法人 秋田大学 高等教育グローバルセンター

連絡先：国際課（国際交流部門事務担当）

TEL：018-889-2870 E-MAIL：kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

総合学務課（教育活動部門・教育開発部門事務担当）

TEL：018-889-3192 E-MAIL：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp